

F. Scott Fitzgerald の短編にみられる 色彩表現について (V)

小林 資 忠
(英米文学研究室)

[1]

本論では、前稿に引き続いて Malcolm Cowley が1951年に編集した短編集 *The Stories of F. Scott Fitzgerald* から Basil Duke Lee¹¹ を主人公とする 'The Scandal Detectives' (1928), 'The Freshest Boy' (1928), 'The Captured Shadow' (1928) と Josephine Perry を主人公とする 'A Woman with a Past' (1930) を取り上げ、色彩表現に注目してそれらの作品の内容を検討してみよう。テキストは Cowley 版を用い、引用の最後の () の中にページ数を示す。

'The Scandal Detectives' に登場する主人公の Basil Duke Lee は褐色の髪をした14歳の小柄な少年で、学校では頭は良いが、怠け者の生徒であった。彼は丁度思春期に入ったところで、子供っぽさを持つと同時に、少女に対する淡い恋心を抱いたりする年齢にあった。5月のある暑い午後、彼は友達の Riply Buckner と2人で Riply 家の屋根裏部屋に入り込んで、町の人々のスキャンダルをノートに書き込むことに夢中になっていた。もちろんこのノートを書いたからといって、町の人々への悪意などは2人になく、一種のスリルを求める遊びであり、その内容はレモン・ジュースで書かれていたので、あぶり出しにしないと誰にも読めないものであった。²¹ やがてこのノートは何年か後に、この家の管理人によって上げ蓋の下から発見され、何も書いていないと思った管理人が自分の娘にやっと思い、その娘のノートになってしまう運命にあった。

この秘密の遊びに夢中になっている時に、裏手の路地に少女達の足音と歌声が聞こえる。少女達と二言、三言、話をしたあとで、2人は皆のたまり場になっている Wharton 家の庭に急いで出かけて行く。Basil は自転車に乗りながら、夕方5時の夕日の中で、少女 Imogene Bissel³¹ を見て、彼女の美しさに心をときめかしながら、喜びと苦痛の入り混じった複雑な気持を味わう。Imogene と言葉をかかわしながら、その晩、夕食のあと、皆がまたその庭に集まる時に、Basil はスクール・リングを彼女に手渡すことを提案する。その指輪は2人の関係がかなり親密であることを示すものであった。Basil はもう1人の少女 Margaret Torrence にスクール・リングをあげたことがあり、それを彼女から返してもらって例の庭に急ぐ。しかし Basil が期待に胸を膨らませて、そこにやって来ると、そこには彼のライバルである Hubert Blair が早々と来ていて、得意のローラースケートの妙技をいろいろとやり、少女達の人気のまとなっていた。Imogene も他の少女達と同様に Hubert に好感を持ち始めていたのである。Imogene に会って、

指輪を渡そうとした時、彼女の口から、さっき Basil が Margaret と会って、いっしょに彼女の家に行ったのを目撃したことを告げられる。言い訳をしようとしたが、もうすぐ午後9時になるし、まわりの少年少女達も家に帰りかけ、雨も降り始めたので、Imogene も家に向かおうとする。雨でびしょ濡れになって帰宅した Basil は Hubert に復讐を考え、仲間の Riply に電話をし、ある計画を立てる。その計画は Hubert に Imogene の声を真似して電話を掛け、彼女の家に皆が集まるので来るように誘い、その途中で Hubert を待ち伏せ、彼を縛り上げ、さるぐつわをかませて、彼の家のごみ箱に突っ込もうというものであった。⁴⁾

Basil, Bill Kampf, Riply によって練られたその計画は着々と準備されていくが、決行の夕暮れに、付け髭で変装した Basil が Hubert と5フィートの距離を置いて対面した時、彼は突然 Hubert をそのようなひどい目に合わせるのが気の毒に感じられてくる。そして Basil はむしろ Hubert に好意を持っていることを自分で悟り、その計画は実行されないままに終わる。⁵⁾ Basil は向きを変えて走り、それを見た Bill も何事か不都合なことが起こったのだと勘違いして、あわてて逃げ出す。Riply もそれに同調して Bill といっしょに駆け出した。Hubert も少しばかり Basil を追い掛けたが、放っておくのがよいと思直し、自分の家の方に向きを変えて走り出した。家に辿り着いた Hubert が両親に一部始終を話すと、彼等はおびえ、家の近くにいたごろつきが息子を狙ったものと思って警察署長に電話をする。その後すぐ、Hubert は父に伴われて、Imogene の家に出かけるが、先ほどの彼女からの電話がにせの電話であったことがやがて明白になる。その場の全員が何が起こったのかわからずに、茫然としている所に Basil とその仲間の少年達が、相次いでやって来て、パーティーはどこでやっているのかとわざと尋ね、たった今 Imogene から電話があって、呼び出されたとうそを言う。事が大きくなって、警察沙汰になりそうなので、少年達もあわてて、自分達もにせの電話でおびき出された振りを装ったのであった。この状況に調子を合わせて、Hubert は自分の体験した冒険談を大げさに話し始める。自分が勝手に作り上げたごろつき撃退法を、得意絶頂になって話している Hubert の様子をそばで見ながら、少年達は途方もなくおかしがった。しかしやがて話が殺人だとか、幽霊だとかの一般論に発展していくと、少年達もそれぞれ恐怖の念に駆られ、家に帰る頃には、自分達の回りにも本当にごろつきが潜んでいるように思えて、恐る恐る家路に着くのであった。⁶⁾

1週間後、Basil と Riply は Hubert と彼の母が海岸へ避暑に出かけたという話を聞く。しかし真相はごろつきが歩き回っているこの町に不安を感じ逃げ出したのであった。Basil は Hubert の家の門の前に立って、彼のことを追想し、過ぎ去ったあの午後の恍惚とした瞬間を懐かしむのであった。

この短編では brown は主人公 Basil の髪の色として用いられるとともに、Basil が淡い恋心を抱く Imogene の目の色彩としても現われている。Basil は Imogene に好意を持ちながらも、Hubert の出現によって、Imogene の心が Hubert に向けられるのをどうにもできないみじめな気持を体験する。もっとも Imogene の方も、Hubert に対する恋愛は成就せず、少女時代によくある一時的なあこがれの気持を抱いたにすぎず、この恋愛もうまく進展していかない。この色彩は事がうまく成し遂げられない不毛性と結び付いているようにみえる。そして Basil が自転車に無数のタイヤの跡を付けたところは芝がはげて“brown spots” (312) がむき出しになって不毛な土地になったことを暗示している。⁷⁾

- (1) He was a shining-eyed, brown-haired boy of fourteen, rather small as yet, and bright and lazy at school. (310-311)

Red は真赤な顔をして息を切らした Basil の様子を描写すると同時に、Basil と友達の Riply が2人で、町の人々のスキャンダルを書き込んだノートの表紙の模造皮の色として使用されている。

- (2) Concealed beneath a sawed-out trapdoor from which they (=Basil and Riply) presently took it was a composition book bound in imitation red leather which currently absorbed much of their attention. (309-310)

さらに Hubert のところに来た怪しげな手紙も赤いインクで書かれている。この手紙は、Basil と Riply が Hubert にいやがらせをするために書いた警告の文であった。この色彩は手紙の最後に書かれていた“skull and crossbones”の連想と相俟って、「人を怒らせるもの」「危険なもの」と関連していると考えられる。⁸⁾

Gray は不信な男のしらがの混った whiskers を表したり、Basil が身に着けた編んだネクタイの色として用いられている。恋が満たされない Basil の暗い気持がこの色彩に暗示されているようにみえる。⁹⁾

- (3) He wore his favorite clothes — white duck knickerbockers, pepper-and-salt Norfolk jacket, a Belmont collar and a gray knitted tie.¹⁰⁾ (314)

Purple は、顔の赤さと結び付き Hubert の話しぶりに引き込まれた少年達の興奮した様子を描写するのに使用されている。

- (4) So interested were Hubert and his father in the story that they failed to perceive that three of his listeners were growing purple in the face or to mark the uproarious laughter that greeted Mrs. Bissel's polite proposal that they have a party, after all. (322)

White は Basil が身に付けたズック製のニッカーボッカーの色を表し、無邪気な少年を彷彿とさせる。

Orange は夕方の太陽光線の色彩を表し、pink はその夕方の空の色と結び付き、Imogene といっしょにいることによって、心が浮き立ち、夢見心地の Basil の気持をそれとなく示している。

- (5) The weight of the pink dappled sky above him was not endurable. He was plunging along through air of ineffable loveliness while warm freshets sprang up in his blood and he turned them, and with them his whole life, like a stream toward this girl. (313)

この短編における色彩語の頻度は次のようになっている。

brown 4 / red 3 / gray 2 / white 1 / pink 1 / orange 1 / purple 1

〔2〕

‘The Freshest Boy’¹¹⁾では主人公 Basil は中西部の町から東部の St. Regis 高校¹²⁾に向かうために、2年生の Lewis Crum と雑談しながら特急列車の車内にいた。新入生の Basil は寮生活の話聞いて、すっかり夢中になり、幸せて胸が一杯だったが、Lewis の方は学校も嫌いで、母親に頼りきっていたので、ホーム・シックにかかり、みじめな気持ちを味わっていた。¹³⁾ Basil は高校でフットボールをやる予定にしておき、Lewis が述べた、人を落胆させる嫌味な言葉をはねのけて、フットボールの試合で活躍している自分の姿を夢想しながら、新生活に胸を膨らませていた。

11月半ばになり、フットボールのシーズンも終って、暇になった Basil は自習室で母に近況報告の手紙を書いていた。丁度書き終えた時、小柄な Brick Wales が入って来て、Basil が校長先生の Dr. Bacon に呼ばれていることを告げに来る。Dr. Bacon の用件は Basil の母から来た手紙のことで、経済的に無理をしてこの学校に入れてもらえたにもかかわらず、成績が振わないことを母が心配しているという内容であった。さらに、今週土曜日に、New York へ劇を見に行く許可の申し入れの件で、Basil が予定した生徒の仲間うまく入れてもらえなかったことを告げられる。あと2人の生徒を見つけてきて、名前を今日の午後5時までに知らせてくれたら、Rooney 先生にいっしょに行ってもらおうように取り計ってみようと言う Dr. Bacon の言葉を、Basil も了承して校長室を出る。Basil はこの学校では生徒の間でも、先生の間でも、いろいろな原因で、好意を持たれていなかったのだから、New York 行きのために、2人の生徒を探すのはなかなか骨が折れそうだった。Basil が9月にこの学校に来て2週間とたたないある日、自分より年下の少年グループに「いぼりんぼのリー」(Bossy Lee)と囃し立てられたり、みんなと押し合いながら食堂に入ろうとした時、フットボールのキャプテンの Carver に乱暴に小突き回されたりしたことがあったが、それ以来、周囲のみんなに嫌われるようになっていたのである。特別にひどい屈辱を受けた後では、自分の部屋にこもって泣いたこともあった。この高校に来た時の彼の自信は完全に打ちのめされ、日を追ってみじめな気持ちが募っていった。そのような現実をのがれるために、架空の世界へ逃げ出したいという思いに駆り立てられ、New York 行きは彼にとって、日常生活からの解放を意味していた。しかし彼は消燈後に本を読んでいて見付かり、罰を受け、New York 行きを次々と延ばされていった。その事がかえって、彼の望みを掻き立てていきもした。午後5時までに2人の生徒を集めなければならなかったのだから、可能性のありそうな生徒を求めて寮の部屋を探し回ったが、みんな水曜日の午後後の外出許可を利用して Eastchester の町へ出かけてしまっていた。彼は罰を受けていたため、外出許可がなかったのだから、変装して寮をぬけ出した。

生徒がよく行っている“the Dog”という軽食を出すワゴン車にまず行ってみると、そこには Bugs Brown がいた。Bugs は土曜日の午後は医者で診てもらおうことになっているということで、Basil の希望はかなえられなかった。次にポスト・アン喫茶店に出かけて行き、2番目に可能性のありそうな Fat Gaspar を見付けるが、回りにいた仲間に影響されて、Fat からは色好い返事してもらえない。どうにもできない、情けない気持ちになって、店を出た Basil はすぐに3人目の候補者 Treadway に出会う。Treadway はこの学校に Basil より後から入ってきて、Basil と同室になったばかりであった。しかし、この時は運悪く、Treadway は Basil とは仲の悪い Brick

といっしょであり、自分のルームメイトが学校でどんな立場にある人物なのか、たった今知ったところだったので、即刻、New York 行きの話は断わられてしまう。みじめな気持ちになり、絶望に陥った Basil は遠回りしながら学校に戻る途中、Lewis が Basil の New York 行き勧誘失敗のおもしろがって得意げに、大声で友達に話しているのを耳にして、一層、気分を悪くする。彼が部屋に戻ると、ベッドの上に小包が来ていた。中味の予想はついており、包みをあけると、Harrison Fisher が描いた8枚の少女の色刷りの絵が出てきた。そのうちの気に入った6枚の絵を間隔をあけて、部屋の回りにピンで止めた。6枚のうち最も彼を引き付けた Babette の絵を見ながら、自分が大人になり、力が強くなったら、自分に嫌がらせをした生徒達に仕返しをしてやると心に決めるのだった。その時、突然同室の Treadway が部屋に入ってきて、Brick の部屋に引っ越すのだと、自分の荷物を運び出し始めた。Treadway が出て行ったあと、Basil は枕に顔を埋めて咽び泣くのであった。

Basil の New York 行きについては、結局、Dr. Bacon が取り計ってくれて、歴史の担当の Rooney 先生に付き添って行ってもらうことになった。Rooney 先生というのはクリスマスになれば、Dr. Bacon によって解雇される予定になっている人物であり、Basil に対しても軽蔑的な気持ちを抱いていた。Rooney 先生は Basil のことをなまいきな少年だと思っており、今みたいに列車の中でおとなしくされていると、いらいらしてくるのだった。列車が New York 近郊にやって来た時、先生はやるべき仕事があるので、Basil が1人で劇を見て、その後劇場の外で落ち合うことを提案した。Basil は先生と別れて1人で Manhattan Hotel で昼食を食べながら、今朝母から来た手紙をひろげて読み始めた。Basil の祖父が外国の温泉に出かけることになり、母と Basil に付いて来て欲しいらしいといった文面で、Grenoble か Montreux の学校へ行って、外国語を学んだらどうかというものであった。この手紙が着く頃には、New York の Waldorf Hotel に行っているから、2、3日会いに来たらどうかとも書いてあった。この手紙を読んで、Basil は St. Regis のすべてのものからおさらばできることを心から喜んだ。¹⁴⁾

劇場を見つけて、ロビーに入っていくと、伝説的な人物となっている Yale 大学のフットボール選手の Ted Fay の横顔をちらっと見かけたりするが、人込みに消えてしまう。劇の第1幕、第2幕の終了後、ロビーに出てみると、何があったのか、Rooney 先生が別人のように変貌し、顔色は白く、外套もびしょ濡れの姿で現われた。これから最後の一幕があるんですという Basil の言葉に、先生は劇場の隣のバーで待っていると残し、向きを変えて、おぼつかない足取りで歩み去った。30分後、劇が終わり、Basil は母の手紙と今見たショーのおかげで、心の中の憎しみや復讐心を洗い流すことができた。先生のいるバーに行くと、先生は奥のテーブルにもたれて、ぐっすり眠り込んでいた。30分だけ先生に余裕をあげようと思い、外に出るが、劇場の横の路地をふと見ると、そこに Ted Fay と劇で主役を演じていた女性が親しそうに手を取り合っていた。興味を引かれて彼等に付いて行くと、やがて2人は近くの Knickerbocker Hotel にお茶を飲みに入り、その女性が結婚を約束したある青年のことで議論が始まった。Basil は2人の会話から、人生の中の人に知られない苦悩を垣間見た思いがし、遠くから見ると華麗に見えた事も、常に困難を秘め、悲しい局面を含むものであることを悟る。¹⁵⁾ この出来事を切っ掛けに Basil は、母とヨーロッパに逃げ出すことを思い留まり、この学校で自分の運命を切り開いていこうと決心する。¹⁶⁾ 彼はバーにいる Rooney 先生を揺り起こし、介抱しながら、列車で学校に帰って行く。

勝手に悪者に仕立てられた場合もあるが、今では回りの仲間の中には、Basil に優しくしてくれる者もでてきた。2月のある午後、二軍チームのバスケットボールの試合中に、ずっと仲の悪

かった Brick が、Basil のことを嘲りの言葉ではなく、苗字で Lee と呼んでくれたことがあった。Basil は思いもよらず受けたその一言で心の傷が癒え、幸せな気分を取り戻し、その夜は安らかな眠りにつくのであった。¹⁷⁾

この短編では、white は Basil と Lewis が中西部から東部の高校に向かうのに乗った列車の座席のカバーの色として用いられ、純白の美しさを表すとともに、Basil の新しい高校に対する純真なあこがれが、それとなく示されている。もう 1 例は Rooney 先生が理由はわからないが、New York に Basil といっしょに出かけた時、外套もびしょ濡れになって、Basil のところに再びやってきた時の彼の顔色に使用され、何かもめごとがあって、取り乱した様子が暗示されている。

- (6) Mr. Rooney had, in fact, gone a little to pieces. . . his face had lost its somewhat gross aspect and turned a pure and even delicate white, and he was wearing his necktie and even portions of his shirt on the outside of his unaccountably wringing-wet overcoat. (340)

Yellow は Basil がフットボールの最中に臆病になった時や、Rooney 先生から「おまえは臆病であって、それが問題なのだ」(337) と言われた時に用いられている。¹⁸⁾

- (7) He saw now that in certain ways he had erred at the outset — he had boasted, he had been considered yellow at football, he had pointed out people's mistakes to them, he had shown off his rather extraordinary fund of general information in class. But he had tried to do better and couldn't understand his failure to atone. It must be too late. He was queered forever. (331)

Blue は Basil が New York で見たいと思っているすばらしいショーの名前“the little boy Blue” (329) に現われるほかに、Basil の目の色に用いられて、これから始まる高校生活に希望を抱いている様子が感じられる。しかし実際の生活は、成績もふるわず、運動も理想と現実では差がありすぎて、みんなから軽蔑され、憂うつな毎日であった。この色彩には希望と憂うつ両面が示唆されている。

Black は Dr. Bacon の金縁メガネがつり上げられている仮空のヒモの色として使用され、Basil をじっと見つめ、問い詰めて悩ます Dr. Bacon の不吉な視線を暗示している。¹⁹⁾

- (8) There were certain preliminaries before Basil was asked to sit down — gold-rimmed glasses had to be hoisted up from nowhere by a black cord and fixed on Basil to be sure that he was not an impostor; great masses of paper on the desk had to be shuffled through, not in search of anything but as a man nervously shuffles a pack of cards. (330)

またこの色彩は Basil が「ポストニアン喫茶店」に行った時、胸の悪くなるようなむっとする匂いの立ち込めた中に、ハエが黒いレース細工の模様のように、ぎっしりと止まっているのを

見た場面に出ており、店に不潔で不吉な雰囲気のを漂わせている。実際に Basil は Fat から自分の望む良い返事をもらえないのである。

Red は Dr. Bacon の赤毛を描写するのに用いられており、血気さかんな彼の性格を表している。

Green は New York に近い、ある小さな町の共有草地の色に使用されているほかに、長年の間に少年達に対して抱いてきた落胆のために、冷笑的な態度を持つようになった Dr. Bacon の心が、青カビでおおわれたものとして比喩的にこの色彩を伴って表現されている。²⁰⁾

- (9) Doctor Bacon was at his desk. He was a handsome, redheaded Episcopal clergyman of fifty whose original real interest in boys was now tempered by the flustered cynicism which is the fate of all headmasters and settles on them like green mould. (329-330)

Gray は Basil が New York にショーを見に行った時に、ふと目にした Yale 大学のフットボールのキャプテンである Ted Fay の目の色に用いられている。Ted はショーに出演していた主役の光り輝くような女性と恋愛関係にあるが、彼女には、1年以上前に結婚を約束した相手があり、その男性がこの2人の恋愛の障害になっていた。外観の華麗さにもかかわらず、絶望的な暗い気持をこの色彩は表している。

Gold は Dr. Bacon のかけているメガネの縁の色であり、外面の立派さにもかかわらず、メガネをつり上げた仮空のヒモの色 black を伴って、彼の言動から心の貧弱が見え隠れする性格がうかがえる。

この短編における色彩語の頻度は次のようになっている。

white 2 / yellow 2 / blue 2 / black 2 / green 2 / red 1 / gray 1 / gold 1

[3]

‘The Captured Shadow’²¹⁾ でも Basil が登場する。彼はまだ15歳だが、友達の Riply Buckner と芝居を見たり、店でソーダー水を飲んだりして、夜の12時に帰宅した。眠そうな母にとがめられて、²²⁾ 少し言葉をかわし、大皿のイチゴで腹を満たした後、2階の自分の部屋へ上って行った。やがて机の引き出しから、自分の作文帳を取り出して目を通し始めた。それには自分が脚本を担当した芝居がいくつか書かれてあった。特にメロドラマ的笑劇「捕われた「影」」は彼が Martindale 高校で乳幼児福祉事業のために、上演しようとしていたもので、第1幕はすでに書かれており、今から第2幕に取り掛かろうとしていた。²³⁾ 夢中になって書いている間に、すでに午前4時半になっているのにふと気づき、びっくりして早く寝ようと思ってベッドに入るが、その中でさらに1時間書き続ける。翌朝は起床が遅くなって、11時に Riply が家に来たことで、召使いに起こされる始末であった。

まもなく Riply が階下から Basil の部屋に上って来て、Basil が書いた芝居の配役を決める仕事に2人は熱中する。特に女優を選ぶことはなかなかむずかしく、やっと主演女優に Imogene を当てることで落ち着く。ところが彼女に電話してみると、盲腸の手術のために、Minnesota 州 Rochester に行く予定であることがわかり、次の候補者を考えねばならなくなる。あれこれと候補者を選んでるうちに、器量の良い16歳の Evelyn Beebe²⁴⁾ に思い至る。彼女の家に出家

けて行くと、Evelyn は18歳の Yale 大学生 Andy Lockheart といっしょにいた。芝居の主役の話に彼女に持ち掛けると、家族といっしょに東部へ行かなければならないからと、断られるが、彼女自身舞台に立ってみたい気持ちが強かったので、結局、芝居の練習には出席することになった。そして相手役として、Basil はあまり乗り気ではなかったが、脚が長く、少女達に人気のある Hubert Blair をしぶしぶ選ぶことにする。しかし Hubert は最初から、芝居にまじめに出演する気はなく、遊び半分に練習に来ていたので、ついに Basil と仲違いし、練習場から出て行く。さらに、Evelyn まで家族が計画を早めて来週東部に行くので、芝居にはやはり出られないと言いついで出す。男性主役の方は Hubert に代って、Riply が多少知っている Central High School の Mayall De Bec を起用することにやっと決まるが、主役女優の代りが見つからないので、Basil は途方に暮れる。午後5時にたまたま Basil の部屋に母が入って来て、彼が気落ちしているのを見て、元気付けるために、「隣りの家の Teddy Barnfield も、おたふくかぜに罹って、独りぼっちで遊んでいるのよ」(356) と Basil になぐさめの言葉を掛ける。この病気はとても伝染しやすいことも母から聞かされる。しばらくして、町角のソーダーファウンテンの麦芽乳を飲みに出かけるため、Basil が通りを歩いていた時に、9歳になる Evelyn の弟 Ham Beebe にたまたま出会い、これから Teddy の所に遊びに行くことを知る。この時 Basil の頭には Ham が Teddy からおたふくかぜを移されることになれば、ひょっとしたら Evelyn の家族も東部へ行かなくなるのではないかと、という良からぬ考えがひらめく。そして Basil は Teddy が裏庭で遊んでいることや、彼の家に入らないで Teddy に会う方法を Ham に教えてやる。Basil 自身も、今までの生涯で、一番悪いことをしたという自覚は充分にあったのだけれど、Evelyn をこの地に留めておきたい気持ちが強くなってしまったのである。

1週間後、ついに芝居上演の当日になり、すべてが整って、幕が上った。Evelyn も Basil の予想通り、弟がおたふくかぜに罹って、東部旅行が延期になり、舞台に立てることになった。しかし男性主役の Mayall は稽古の期間が10日しかなかったので、第2幕と第3幕を取り違え、第2幕のまん中で、第3幕を演じる誤りをやってしまう。Basil はとっさに幕を降ろすように指示し、観客にやり直しの許しを得て、なんとかその場を取り繕った。20分後に芝居は成功裡に終わり、俳優達は通路の四方八方からお祝いの言葉を受ける。Basil は仕事に没頭した後の空虚な感じを経験すると同時に、小さな子供を騙した後味の悪さをかみしめながら帰宅した。²⁵⁾そして母の心配²⁶⁾をよそに、疲れのためか、ソファーでぐっすり眠り込んでしまう。

この短編では、red は酒を飲み過ぎて鼻が赤くなった男の描写や、人を暖かく迎える書斎の電気スタンドの色に用いられている。もう1例は Bill Kampf が芝居の中で、うっかりハンカチで額をふいてしまい、ハンカチに付いたメーキャップの赤い染みを見てびっくりする場面に現われる。観客の笑いを誘うことになり、この色彩は Bill の恥しい気持²⁷⁾と関連している。

White は Basil が脚本を書いているうちに午前1時30分頃になってしまい、ちょっとした物音にもびっくりする静寂の中で、網戸にぶつかる一匹の蛾の色を示すのに用いられている。無気味さとともに今 Basil が書いている芝居の成功が暗示され、「縁起のよさ」が象徴されていると考えられる。²⁸⁾さらに真夜中を過ぎても眠らずに芝居を書いている、a white night (眠れぬ夜) を過ごす Basil 自身がその蛾の姿に重ね合わされているようにもみえる。

(10) An hour passed. Several times he had recourse to a collection of joke books and to an

old Treasury of Wit and Humor. . . . At the moment when, in his story, a door moved slowly open, he heard a heavy creak upon the stairs. He jumped to his feet, aghast and trembling, but nothing stirred; only a white moth bounced against the screen, a clock struck the half-hour far across the city, a bird whacked its wings in a tree outside. (349)

また Basil が怒りで真っ青になった時も “go white with rage” (355) のように white を伴って描写されている。

Blue は夜明け直前のあたりが白んでいる様子を表すのに使用されている。

Yellow はこれから芝居を行うことになっている高校の照明が当たった窓ガラスの色に用いられ、明るさを強調している。Basil はそれを見て、どうにもならぬほど熱狂的な興奮を覚える。²⁹⁾

- (1) As its yellow windows loomed out of the night his excitement became insupportable; it bore no resemblance to the building he had been entering so casually for three weeks. His footsteps echoed symbolically and portentously in its deserted hall; upstairs there was only the janitor setting out the chairs in rows, and Basil wondered about the vacant stage until someone came in. (358)

Black は警官の役をする Riply が、前列の子供がやかましいのでおこってしまうが、その時の怒りに震えている口の上のつけひげの色に用いられている。

この短編における色彩語の頻度は次のようになっている。

red 3 / white 2 / blue 1 / yellow 1 / black 1

[4]

‘A Woman with a Past’³⁰⁾の主人公 Josephine Perry³¹⁾は17歳の高校生で、2月に友達の小説 Lillian, Adele Crow, 付き添いの Chambers 先生といっしょに、招待された Yale 大学の舞踏会に出席するため、中西部の Chicago から車で New Haven にやって来た。Josephine は中西部の若い男性にはうんざりしており、この青春の町に、愛される以上に愛せる男性がいたらと思って胸を膨らませていた。Adele は Josephine や Lillian より1年上の3年生で、ホッケー部の春学期委員であり、クラスの級長でもあった。彼女はスポーツ品を買うため、車をスポーツ用品店で止めてもらった。売場台にお客として2人の男子学生がいたが、その2人が店を出ようとして、振り返った時、Chambers 先生と Adele を見掛けて話を始めた。1人は Ernest Waterbury と言い、校長の Miss Brereton の甥で、Yale 大学の学生であった。もう1人の男性は Dudley Knowleton という名で、背が高く肩幅の広い学生であり、ブロンドの縮れ髪をしていた。Dudley は Adele と親しいらしく、愛想よくしゃべっていたが、下級生の2人には目を向けていても、注意していない様子であった。やがて2人と別れて、Miss Brereton の学校に戻る車の中で、Josephine と Lillian は Dudley のことで Adele にいろいろと質問した。彼が野球チームの主将であることや、Adele は彼とずっと知り合いで仲よしであることが明らかになる。Adele は Dudley のことを話しながら、Josephine よりも幸福そうであった。Dudley は Josephine にとっても、彼の人気と業績の点から考えてみると、魅力のある男性に思えてきて、

彼女は Dudley が自分のことを覚えていてくれて、舞踏会で踊ってくれるだろうかと考えたりもする。

友愛会創立委員の3人の2年生が借りてくれた家から大学の舞踏会にやって来た Josephine と Lillian は、最初はおどおどしていたが、やがて自信を取り戻し、Josephine の回りには10数人の男子学生がお伴をするようになった。しかし、Josephine は Adele が Dudley の今夜の同伴者だということを知って、Adele の立場が羨ましく思えるのであった。そして女は美しく魅力的であることで人気を得るものであると Josephine は考え、野球チームの主将の気持を繋ぎとめているだけで、足首の太い、顔はピンク色が勝ち過ぎる Adele が皆に持ち上げられているのを見て、良い気分がしなかった。丁度この時 Dudley が Lillian と踊っていたところなので、Josephine は今いっしょに踊っている Ed Bement に彼等のそばへ踊りながら行くように言い、自分の香り豊かな魅力が Dudley に触れるように画策する。ついにお互いの視線が交わり、すぐに Dudley は割り込みをしてきて Josephine と踊ることになった。Josephine は Adele のことをほめながらも、一方で「いちゃいちゃ、うろうろする百人の男性よりも、良い男性の友達が1人欲しいわ」(369) と暗に Dudley その人のことをほめかしたりする。やがて別のパートナーに割り込みをされてがっかりして踊っているうちに、真夜中が過ぎ、さらに1時間がただただ過ぎて行った時、突然 Dudley が彼女に近付いてきた。彼は Josephine をボックス席の端まで引っ張っていき、Adele が階段で足首をひねって、ストッキングを釘に引っ掛けて破ってしまい、Josephine から一足借りたがっていることを告げた。Dudley は車で Josephine が泊っている家まで同行し、ストッキングを手に入れると、Josephine が彼と親密になりたいと思い、言い寄ろうとしているのをうまくかわして、再びパーティ会場に戻って来た。Josephine は多くの男性と踊ったが、最後に現れた南部男 Book Chaffee とともにダンスフロアを離れ、彼が隠れ場所としている個室に入って行った。ほの暗い明かりの中で2人がキスをしていた時、突然外からキーを掛けられ閉じ込められてしまう。2人は、舞踏会運営委員会の誰かがこの部屋に来れば、いろいろうわさされて、あまりうまくないと考え、壁の上方にある窓から抜け出すことにする。丁度彼女が窓から両脚を外にぶら下げた瞬間、ドアの外で何人かの声が響いて、キーが錠前の中で回った。Josephine と Book はそっと地面において笑いながら走り、パーティー会場に入った。彼女がフロアに足を踏み入れた途端に、何かで急いでいた Dudley にぶつかった。彼女は Dudley から「ちょっとした悪ふざけがあって、ぼくの責任にされたので、調べに行くところだったんだ」(373) という急いでいた理由を聞かされたり、また野球チームが復活祭の休みに Hot Springs でトレーニングをすることになっているという情報も耳にする。このすぐ後に、彼女は紳士用クロークの外で、Adele と Dudley に出会い、嫉妬心を掻き立てられる。

3月初めのある夜、Miss Brereton School 恒例の上級生のための舞踏会が体育館で催された。下級生は Josephine を含めて、体育館から聞こえる曲の調べに耳を傾けながら各自の部屋で目を覚ましていた。Dudley も50ヤード離れた体育館に来ていたが、復活祭に会えるので、Josephine はそのまま部屋に留まり辛抱した。他の部屋の同級生の中には男子学生の誘いに応じて、階下においていたり、自分の部屋に招き入れる者もいた。翌日の午後、Kwain 先生から昨夜のことで、謹慎を命じられる者もでてきて、Josephine も運悪くその中に入れられてしまい、全校が行く酪農場見学旅行に行くことができなくなった。彼女に同情した Chambers 先生は Brereton 校長の甥の Ernest の接待役を Josephine に手伝わせることにした。Ernest が礼拝堂の中のある物を見たいと言ったので、そこへ通ずる階段を登っていた時、彼女が最上段で足を

滑らせ、5フィート落ち、Ernestの腕の中に抱かれる形となった。丁度この時、偶然通りがかったBrereton校長と来校中の理事に、2人の様子を目撃されて疑われ、Ernestの方はNew Havenに追い帰され、Josephineは自尊心を傷つけられて取り乱してしまう。New Yorkにいた彼女の父親Perry氏もその日の夜、学校にやって来て、Brereton校長の誤解を激しく責め立てた。Josephineのここでの学校生活も終わることになり、彼女は学校が休みに入るまで4日間Hot Springsでゴルフのレッスンを受けて過し、やっと元気を取り戻す。彼女が母親と滞在しているホテルの階下でパーティーが開かれていたので、気分転換のため下に降りて行くと、そこにはDudleyも来ていて、いっしょに踊ることになる。やがてDudleyと彼女は暖かい南部の夜の中へ出て行って、今までのことを話し合う。彼からあの学校のことは忘れ、最初からやり直すように助言され、彼女も幸せな気分ひたった。JosephineはDudleyに対する自分の気持を率直に話す、彼の気持はAdeleの方に向いており、彼女は惨めな気持を味わう。彼女は生まれて初めて、自分の方から男性を求めて失敗したことを実感する。³²¹ ホテルのフロアに戻ってしばらくすると、彼女は何人かの学生からドライブや散歩に誘われるが、特に心を引かれる男性もいなかった。彼女は焦って男性を探してはいけけないのだという認識を初めて持ち、将来を託すのにふさわしい時にひらけてくる可能性に向けて、自分を安売りはしないと心に決めるのだった。

この短編では、whiteはAdeleのドレスの色に用いられ、彼女の純真さ、清楚さを表している。さらにJosephineがまだお下げ髪の頃、身に着けていた木綿のストッキングもこの色彩で修飾されている。またこの色彩は月とともに用いられて、明るさを示すのに使用されている。

- (12) Josephine was dancing with Ed Bement from Chicago. He was her earliest beau, a flame of pigtail days in dancing school when one wore white cotton stockings, lace drawers with a waist attached and ruffled dresses with the inevitable sash. (368)

Blueは憂うつさを暗示するとともに、Josephineの新調したごく淡い春向きのドレスの色にも用いられ、彼女の幸福感を表している。彼女はこの服を着て、わくわくする気持で大学主催のダンスパーティーに参加するのであった。このパーティーで知り合ったPrinceton大の学生と散歩のため外に出た時に、その名も“the Blue Ridge” (380) という山脈の上に白い月が出ており、ロマンチックな気分が高まっていく経験をしている。

- (13) She hurried into a new spring evening dress of the frailest fairy blue. In the excitement of seeing herself in it, it seems as if she had shed the old skin of winter and emerged a shining chrysalis with no stain; and going downstairs her feet fell softly just off the beat of the music from below. (377)

GreenはJosephineの物ほしげな目の色に用いられて、彼女の活気あふれる若さを象徴しながら、同時にAdeleに対する嫉妬の気持も表しているようだ。

- (14) She was exactly seventeen and she was blasé. Already she had been a sensation and a scandal; she had driven mature men to a state of disequilibrium; . . . Here and there in

the Middle West were discouraged little spots which upon inspection turned out to be the youths who had once looked full into her green and wistfull eyes. (364-365)

この短編における色彩語の頻度は次のようになっている。

white 3 / blue 3 / green 1

ここで扱った4つの短編の主な色彩語については次のようにまとめることができる。

Brown は事がうまく進展しなかったり、成就しないことを暗示するのに用いられている。**Red** は人を怒らせるものや危険なものに関連しながら、血気さかんな性格や恥しい気持も表す。**Gray** は暗い気持や不信なもの結び付いている。**White** は純真さや純白の美しさを表すとともに、取り乱した心配そうな顔や、真っ青になった顔にも用いられている。さらにこの色彩は縁起の良さを暗示することもある。**Yellow** は臆病と結び付きながら、他方では明るさを示し、**blue** は未来に対する希望と同時に憂うつさを示唆する。**Black** は不潔な雰囲気や人を悩ます不吉さを象徴している。**Green** は活気あふれる若さの他に、嫉妬深い気持を表すのに使用されている。

< Notes >

- 1) Basil は “a remarkable likeness of Fitzgerald as a young man” と考えてよいだろう。____ Joseph Mancini, Jr., “To Be Both Light and Dark: The Jungian Process of Individuation in Fitzgerald’s Basil Duke Lee Stories,” in *The Short Stories of F. Scott Fitzgerald: New Approaches in Criticism* Edited by Jackson R. Bryer (Madison, Wisconsin: The University of Wisconsin Press, 1982), p.89.
- 2) Unless these darker aspects that form the person’s shadow reach the light of consciousness again, they will at least temporarily suffer the fate of the recorded misdeeds of Elmwood Leaming, which Basil, desiring but fearing to emulate them, notates with invisible ink in the Book of Scandal. ____ Ibid., p.100.
- 3) Through Basil’s encounter with her, “For the first time in his life he realized a girl completely as something opposite and complementary to him, and he was subject to a warm chill of mingled pleasure and pain.” (312-313) ____ Ibid., p.105.
- 4) One of the most striking aspects of the Basil stories, . . . is the degree to which seemingly innocent individuals instigate violence against outsiders, against others within their own ranks, or even against themselves. ____ Alice Hall Petry, *Fitzgerald’s Craft of Short Fiction: The Collected Stories 1920-1935* (Ann Arbor, Michigan: UMI Research Press, 1989), p.173.
- 5) In “The Scandal Detectives” he (=Basil) abandons his plan to kidnap Hubert Blair, tie him up, and stuff him in a garbage can, not only because of a logistical glitch (co-conspirator Riply Buckner cannot manage the rope) but more importantly because he felt “morally alone” when faced with the reality of abducting Hubert. ____ Ibid., p.157.
- 6) This is an example of how an inflationary role becomes bigger than life, frightening even its creator. Later at St. Regis, Basil in the bad boy role is accused of sins he has not committed and serves as the collective scapegoat, The sin of inflating one role at the expense of other traits is often punished by losing one’s real face to a mask, by becoming merely an agent of a universal function. The inflationary role that was geared to create individuality becomes, if carried too far, the means of obliterating that identity. ____ Joseph Mancini, Jr., *op. cit.*, p.98.
- 7) 山下主一郎ほか共訳『イメージ・シンボル事典』(東京:大修館書店, 1984), p.87.
- 8) 赤池鉄士『英語色彩の文化誌』(研究社, 1981), p.52.

- 9) 赤池鉄土, 前掲書, pp.187-188.
- 10) During his youth, Basil assumes other personae, usually made manifest by clothing or physical mannerisms. We can see him frantically combing his hair and putting on a clean shirt of Joe's to prepare for a grand entrance at the kissing party. ____ Joseph Mancini, Jr., *op. cit.*, p.99.
- 11) ... when writing "The Freshest Boy," he (=Fitzgerald) would still remember his unhappiness at Newman. For one thing he was made piercingly aware that the world judged him by his actions, not his intentions, that plans are useless without the will to convert them into action. But he also perceived that public failures can be turned into private victories through art. One incident among others showed him the unsuspected power of poetry. He had been accused, wrongly this time, of cowardice on the football field. Bitterly, he wrote a thirty-six-stanza poem in the Kipling manner that more or less duplicated the theme of "Reade, Substitute Right Half," a breathless celebration of a lone hero who wins for his side. ____ André Le Vot, *F. Scott Fitzgerald: A Biography* Translated from the French by William Byron (New York: Doubleday & Company, Inc., 1983), pp.22-23.
- 12) At St. Regis, he learns to qualify his passive acceptance of motherly nurturing by *stealing* food from the pantry, a symbol of the mother, and then later *paying* for his meals in New York, albeit with money his mother has sent to him. ____ Joseph Mancini, Jr., *op. cit.*, p.95.
- 13) As long as Crum does not consciously defy his mother, he can unconsciously experience her authority as his own. ____ *Ibid.* p.96.
- 14) Mrs. Lee's upbringing of Basil has left him socially inept and, hence, spiritually and socially isolated. Repeatedly Fitzgerald emphasizes that Basil is hopelessly "fresh," a word for which there seems to be no exact modern equivalent, but which in general suggests that poor Basil doesn't know when to keep his mouth shut. ____ Alice Hall Petry, *op. cit.*, p.169.
- 15) As he listens to a painful conversation between the apotheosized Ted Fay and a woman, Basil observes that Ted is not all Basil imaged him to be and that, consequently, he himself is not so distant from what Ted represents. ____ Joseph Mancini, Jr., *op. cit.*, p.102.
- 16) His mother's spoiling of him was calculated to keep him attached to her; yet he augments her inflation of him ultimately to rebel against her and the St. Regis population. While escaping the bounds of St. Regis, he simultaneously binds and confines others, only to earn the epithet "Bossy." ____ *Ibid.*, p.98.
- 17) The Basil stories in fact seem to trace not simply the process of his transformation from "fresh" child to sentient adult, but concomitantly his growing sense that he can — indeed, must — withdraw from the influence of his mother if he is to grow properly. ____ Alice Hall Petry, *op. cit.*, p.170.
- 18) 赤池鉄土, 前掲書, p.82.
- 19) 赤池鉄土, 前掲書, p.225.
- 20) この green は死, 破滅, 腐敗を暗示する。 ____ 山下主一郎ほか共訳, 前掲書, p.298.
- 21) This play, significantly titled *The Captured Shadow*, is largely a projection into the outer world of an unconscious drama produced within Basil's psyche. What goes on in the play, especially with regard to the male lead, is what Basil must consciously see as happening within him; his shadow must be captured and harmonized with the light of his persona. ____ Joseph Mancini, Jr., *op. cit.*, p.102.
- 22) As the child rebels against the mother, he simultaneously but unconsciously weakens his fusion with the Self. Although Basil has passed beyond the infantile state at the beginning of his recorded history, he nevertheless never quite escapes being influenced by his mother, whose subtle presence in every story but the last is hovering in the background via either her actual person or a figuration of her motherliness. ____ *Ibid.*, p.94.
- 23) In conceiving *The Captured Shadow*, Basil half consciously brings his shadow into the light. While he has long cast his bright shadow of creativity onto the authors of the New York "crook comedies," he nevertheless retrieves his projection somewhat and resurrects his own creativity so that his play is not a mere imitation of those he loves. Furthermore, although he finds that his powers work most effectively when he is alone at night, he fears going crazy in the darkness and desires his play to see the light of

- day and be fully realized on stage with the help of his friends. ____ *Ibid.*, pp.102–103.
- 24) As he (=Basil) grows older, he continues unconsciously to seek the eternal feminine in women like Evelyn Beebe, who helped to inspire his creation of the play and in particular its female lead. ____ *Ibid.*, p.105.
- 25) He cannot quite accept the fact that evil means (infecting Ham Beebe) can lead to noble ends (a generous donation to the Baby Welfare League, plus public recognition of his hard work as a writer). The incompatibility of questionable conduct and artistic achievement was a truth becoming increasingly evident to Fitzgerald as he wrote the Basil stories in the late 1920s. ____ Alice Hall Petry, *op. cit.*, p.160.
- 26) In returning to his mother's influence, especially after abortive attempts to fashion his ego in the world inhabited by Imogene and other girls who like long pants on boys, Basil is unconsciously rejuvenating himself by contact with the Self via his mother; yet he is also endangering the relative autonomy and growth of his ego by passively accepting what is often unreservedly and too easily given to him. ____ Joseph Mancini, Jr., *op. cit.*, p.95.
- 27) 山下主一郎ほか共訳, 前掲書, p.521.
- 28) 赤池鉄士, 前掲書, p.155.
- 29) 山下主一郎ほか共訳, 前掲書, p.705.
- 30) . . . , "A Woman with a Past," which he (=Fitzgerald) did not like, is part of the Josephine cycle; it is set in the years before the war when his heroine, a combination of Ginevra and Zelda, begins to feel herself adrift. ____ André Le Vot, *op. cit.*, p.255.
- 31) Josephine Perry, a shopworn seventeen-year-old in "A Woman with a Past," fails to attract a man she truly loves, basically because all she knows of romance, and of herself, is derived from popular music. ____ Alice Hall Petry, *op. cit.*, p.158.
- 32) Josephine fails utterly to attract Knowleton, evidently the one man of her multitude of conquests that she truly cares for; and the major problem is her "past" — one from which she had apparently learned nothing about love. ____ *Ibid.*, p.162.

< References >

- 1) Akaike, Tetsushi (赤池鉄士). 『英語色彩の文化誌』(東京: 研究社, 1981).
- 2) Le Vot, André. *F. Scott Fitzgerald: A Biography* Translated from the French by William Byron (New York: Doubleday & Company, Inc., 1983).
- 3) Mancini, Joseph, Jr. "To Be Both Light and Dark: The Jungian Process of Individuation in Fitzgerald's Basil Duke Stories," in *The Short Stories of F. Scott Fitzgerald: New Approaches in Criticism* Edited by Jackson R. Bryer (Madison, Wisconsin: The University of Wisconsin Press, 1982).
- 4) Petry, Alice Hall. *Fitzgerald's Craft of Short Fiction: The Collected Stories 1920–1935* (Ann Arbor, Michigan: UMI Research Press, 1989).
- 5) Yamasita, Kazuichirō (山下主一郎). *et al.* (trans.) 『イメージ・シンボル事典』(東京: 大修館書店, 1984).

(1993年10月12日受理)